平成29年司法試験 合格体験記

平成24年度修了（未修コース）高上 賢治

卒業5年目2回目の受験で合格した高上賢治と申します。年数制限ギリギリの5年目の合格なので、あまり参考にはならないとは思いますが、司法試験について悩んでいる方への一助となれば幸いです。

私は、卒業後から3年間は、仕事が忙しかったこともあり、卒業4年目からの受験となりました。

1回目の受験時は、どの科目もほぼ覚えていない状態で、在学時のノート等を読み返していました。司法試験は民事系の配点が高いことから、民事系科目にウエイトを置いて、勉強していました。年明けからは択一にも時間を割いて、全体的に時間の足りないなか大急ぎで回していました。結果的には、択一と論文の民事系は軒並み上位でしたが、論文の公法系・刑事系が間に合わなかった感じで、不合格となりました。成績通知から、合格する受験生よりも自分の方が民事系はよくできていること、民事系でやってきたような勉強を公法系・刑事系にも流用すれば、合格できそうだという感覚が得られました。

そこで、2回目の受験に備えて、上位ロースクール生が使っている演習書のランキング（受験新報）から公法系・刑事系各科目1冊選んで、その内容をできるだけ完全に理解して表現できることを最優先にして勉強しました。

また、2回目の受験が最後の受験となるので、ラスト1回というプレッシャーに負けないうように、定期的にジムに通って筋力トレーニングを始めました。詳しくは分かりませんが、筋力トレーニングで内分泌などのホルモンバランスが変化して、プレッシャーを感じにくくなるとか、なんとか。このお陰かは分かりませんが、試験前は、合格する気がしませんでした（アホかと思う人もいると思いますが、試験に不安を抱えている人にはオススメです）。

このような言わば出戻り受験生を温かく迎え入れ、ゼミ等に参加させていただいた岡山大学ロースクールの皆様には本当に感謝いたしております。ありがとうございました。